

カリキュラム

機構施設名： 静岡職業能力開発促進センター

実施機関名： 株式会社サスネット

26-22-12-104-051

D. データ活用	104 ピボットテーブルを活用したデータ分析
表計算ソフト活用	

コースのねらい	表計算ソフトのピボットテーブル機能を活用し、効率よく大量のデータを集計し、様々な視点からデータの分析を行うための手法を習得する。
---------	------------------------------------------------------------------

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	日 程	
				月 日 時刻	
1	■ 多角的データ分析	(1)ピボットテーブルの基礎 データベースの基礎とピボットテーブルの基礎についてピボットテーブルに元にするデータベース表の作成方法やコツを学びます。	0.5	令和8年 10月7日(水)	9:30~16:30 昼休憩 12:00~13:00
		(2)ピボットテーブルの作成 ピボットテーブルの操作、実際にピボットテーブルの作成手順や集計結果の見方について学びます。	0.5		
		(3)集計の変更やグループ化 数値の表示変更や、集計方法を変更したり、データをグループ化したりすることで単純な集計だけでなく、多角的に分析する方法を学びます。また関数を利用してピボットテーブルの集計結果を他のセルに表示させる方法を学びます。 実務に近いサンプルデータを利用し、演習も行います。	1.5		
2	■ ピボットグラフによるデータの見える化	(2)ピボットグラフの種類の変更 ピボットテーブルからピボットグラフを作成します。様々な種類のグラフを使ったデータの可視化を行います。 サンプルデータを利用し、演習を行うことで場面にあったグラフの種類選択の仕方を学びます。	0.5		
3	■ 複数テーブルの分析	(1)集計対象を絞り込む スライサーやタイムラインの機能を利用し、必要なデータを絞り込み分析する方法を学びます。スライサーに複数のピボットテーブルを連系させ分析する方法を学びます。	1.0		
		(2)リレーションシップの設定 「商品」「売上」「顧客」「取引先」など複数の表を元に、データベースの表を元にピボットテーブルを作成する方法を学びます。リレーションシップの基本とピボットテーブルの活用方法を学びます。	1.0		
		(3)演習 本日の講座内容に沿った問題を解き、ピボットテーブルを業務で活用できるよう演習を行います。様々な業種に合わせたサンプルデータを利用し、演習を行います。	1.0		
			合計時間	6時間	

カリキュラム作成のポイント	大量のデータを効率的にかつ自社業務で活用できるよう、ピボットテーブルの基礎となるデータベース表の作成ポイントから、複数のデータベース表を使った分析まで学べるカリキュラムとしました。ピボットテーブルを用いてどのような分析ができるのか、作成するだけでなく様々な表示方法、集計方法も学び業務に活かせるカリキュラムとしました。また演習の時間には、1日の復習が出来るよう演習問題を解き、理解を深めて頂けるカリキュラムとしました。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------